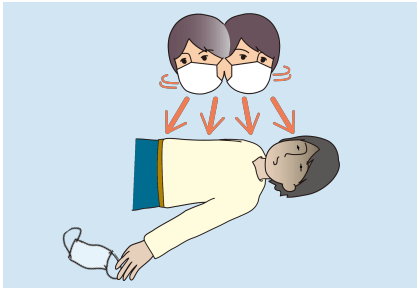
図説　COVID-19流行下の市民による一次救命処置の要点

日常からの感染防護

- 普段からマスクを装着しておく。

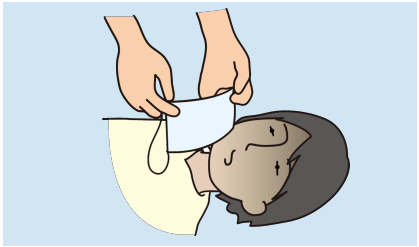
反応の確認と通報

- 肩を叩きながら大声で呼びかける。
- 応答や目的のある仕草がなければ、119番。
- ハンズフリー（スピーカー）モードを活用。



呼吸の確認

- あまり近づきすぎないように。
- 普段通りの呼吸でなければ心停止。
- 判断に迷う時も心停止と考えて行動する。



エアロゾル飛散の防止

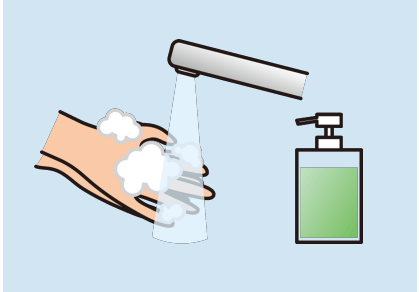
- マスクやハンカチ、タオル、衣服などで倒れている人の鼻と口を覆う。

胸骨圧迫

- 強く、速く、絶え間なく。
- 成人には人工呼吸を行わない。
- 子どもには、できれば人工呼吸も行う。

AEDによる電気ショック

- AEDの指示に従い、電気ショックを行う。



引き継ぎ後の衛生

- 速やかに石鹸と流水で手と顔を十分に洗う。
- 鼻と口にかぶせたハンカチやタオルなどは、直接触れないようにして廃棄する。

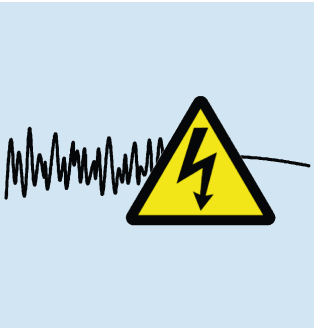
無断転載を禁ずる

©Japan Resuscitation Council

COVID-19：新型コロナウイルス感染症，AED：自動体外式除細動器

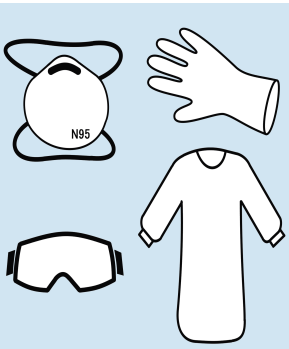
図説　医療用COVID-19対応救命処置の要点

COVID-19対応の要点を簡単にまとめた。下記の順番は、必ずしも絶対的なものではない。



Defibrillation　AED/除細動器装着

- エアロゾル感染防護の準備ができずCPRを開始できない場合には、まずAED/除細動器を装着
- 適応あれば電気ショックを先に行ってよい



PPE　エアロゾル対応PPEの着用

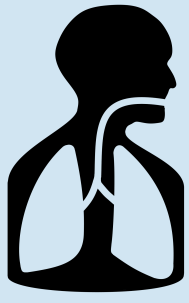
- N95以上のマスクまたはPAPR
- 眼の保護具
- 手袋
- 液体非透過性ガウンまたはエプロン

Airway seal　気道の密閉（エアロゾル拡散防止）

- BVMにHEPAフィルターまたはウイルス防護力が十分に備わったHMEフィルターを装着
- 両手法で確実に密閉

Circulation　胸骨圧迫

- エアロゾル感染防護（エアロゾル対応PPE着用および気道の密閉）を実施したうえで胸骨圧迫



Breathing　技能と状態に応じた陽圧換気

- BVM換気
- 声門上気道デバイス
- 気管挿管

無断転載を禁ずる

©Japan Resuscitation Council

COVID-19：新型コロナウイルス感染症，AED：自動体外式除細動器，PPE：個人防護具，　CPR：心肺蘇生，　PAPR：電動ファン付呼吸保護具，　BVM：バッグ・バルブ・マスク，　HEPAフィルター：高効率微粒子エア・フィルター，　HMEフィルター：湿熱交換器フィルター